

**[説明資料] 発明・工夫作品コンテスト** 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

|     |                |              |      |     |         |
|-----|----------------|--------------|------|-----|---------|
| 学校名 | 北海道教育大学<br>旭川校 | 個人・<br>グループ名 | 原田友樹 | 作品名 | 食器棚兼飾り棚 |
|-----|----------------|--------------|------|-----|---------|

### 製作の動機

大学に入学し三年目になり, 授業で木材加工に関していろいろ学び, その学んだことを活かし何かを作ろうと考えました。何を作るか考えたところ, 私の住んでいるアパートには食器棚がなかったので, 食器棚を作ることになりました。作るからには長く使用でき, おしゃれな物を作ろうと考え製作しました。

### 作品紹介

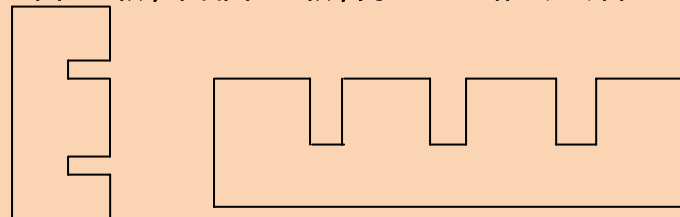


上部の棚は, 蝶番はフラッシュ蝶番を使用し, 留め具にはマグネットキャッチを使用しました。中に入っているのは左図の持ち手がハート形のトレイです。このトレイは食器棚兼飾り棚を塗装している間の時間で作成しました。

食器棚兼飾り棚で使用した木材は, 扉の枠部分は松を使用し, ルーバー部分はラウンベニヤ, その他の部分はシナのランバーコア合板を使用しました。そのため, 1800×600×300 というサイズでありながら一人でも動かすことのできる重さです。



上図は製作途中の棚です。五枚の板を相欠き接ぎで組み立てました。下左図が三枚, 下右図が二枚, 同じものを作り組み合わせました。



左図の扉もフラッシュ蝶番とマグネットキャッチを使用しました。上図の相欠き接ぎ以外の棚板, 天板, 底板と側板との接合にはビスケットを使用しました。一番時間と手間をかけたのはルーバーの部分で, 手作り感を出すためにあえて綺麗な直線にしませんでした。塗装はオイルステインのオークを使用し, アンティークな感じに仕上げました。

### 製作を終えて

最初は学習してきたことを活かし製作するはずであったが, 製作していくなかで学んだことがとても多くありました。また, ものづくりの楽しさ, 完成した時の充実感など, とても大切なことを感じる事ができました。今後も時間を作りものづくりを行っていきたいです。